

認定農業者の現状と今後の育成について



高橋 修二

質問 本市の認定基準として、所得目標、年間三百八十万円程度、労働時間目標、年間二千時間程度となっているが、認定状況はどうか。五年毎の更新で再認定、再々認定者もいるが、改善計画の目標達成状況はどうなっているか。また、これら未達成者に対する育成支援方法と本市での認定農業者の数値目標はどれくらいか伺う。

答弁 現在、本市の中には認定農業者が二百二名、個人が百七十九名、法人が二十三団体いる。改善計画の目標達成状況では、大体七割以上の方が所得目標は達成しているものの、労働時間目標はなかなか農業者の皆さん方には達成しがたい数値であるとの結果が出ている。これまでの取組の反省を踏まえて、今後、認定農業者に対するサポート体制を強化して参りたい。本市の認定農業者の目標数は二百二十四名である。

川内・甕島航路開設に向けての構想等について



鷺山 和平

質問 市長は九州新幹線全線開通時までには、川内・甕島間に超高速船を就航させたいと答弁されているが、川内・甕島航路の開設は、島民の利便性の向上、観光産業の振興促進、薩摩川内市民の一体感醸成に大いに寄与するものと確信しているが、薩摩川内市が建造を計画している超高速船の性能及び実現のための課題を示されたい。

答弁 私は市長に就任してから甕島については、「宝の島」であるということをお機会あるごとに申してきた。この航路を実現するためには「財源の確保」、「運航事業者の決定」、「川内港の整備」等の課題があるが、一番大切なことは、甕島市民のお考え、意見である。なお、超高速船については、時速七十キロ程度を想定している。

薩摩川内市の「自治基本条例」策定計画について



江口 是彦

質問 ①策定しようとする自治基本条例の特徴は何か。この条例の中で、薩摩川内市は何を大事にするのかということの規定が必要がある。②市民参画・協働の仕組みづくりが強調されているが、策定過程での「協働」はどのように考えているのか。③「市民投票制度」についても、条例の中にかかり書き込むべきと思うがどうか。

答弁 ①地区コミュニティ協議会は、地区振興計画等を策定し、まちづくりに参画していただいているが、その活動根拠を規定しなかったことで、条例化した。条例をつくる際には、情報共有や協働・参画の三項目について、大事にしたい。②市内四十八カ所をめどに開催する意見交換会、総合計画審議会、市政モニター、女性五十人委員会及びパブリックコメント等の機会を協働と考えている。③本市としては、民意の反映は議会を優先することとし、住民投票制度は消極的に解している。

災害時における救援物資の提供について



福田 俊一郎

質問 ①災害時における各地からの救援物資の受け入れについての方針は。②食料、飲料水、生活必需品等の備蓄物資計画における流通在庫備蓄については、民間業者等との食料供給協定を締結することと努めることとなっているが、現状と今後の取組は。③災害対応型自動販売機については、早期に対応すべきであるが、いかがか。

答弁 ①規定に基づいて、問題のないよう対処して参りたい。②食料供給協定等は、まだ締結していないので、これについては検討して参りたい。③災害時において、飲料水の確保は重要なことであるので、協定の締結について前向きに検討したい。

全国学力テストについて



瀬尾 和敬

質問 全国学力テストについて、本市としてどのように対応して参りたいか。